

平成26年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
(専門職学位課程) 法学既修者認定試験

試験問題 (刑事法)

(90分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が表紙を含めて3枚であることを確認してください。
- 4) 試験開始後、2種類の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができません。
- 6) 下書きは答案構成用紙または問題冊子の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始後30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

刑法（配点100点）

苦学生甲は、M駅ビル内の時計店でアルバイトをしていたが、学費を捻出するためにはアルバイト収入だけでは足りないと考え、同店で販売していた高級時計を持ち出し、売却することを企てた。そこで、甲は、勤務時間が終わると、無断で時計数点を従業員控室に持ち込み、自分の鞆に仕舞い込んだ。すると、店長Aが入ってきて、「先週入荷した高級時計が、いくつか売り場に見当たらない。何か知らないか。」と甲に尋ねた。甲が、「俺、何も知りません。」と言って帰ろうとしたため、Aが、「待てよ。なぜそんなに慌てている。」と引き止めたところ、甲は、Aを無視して走り去った。

駅から約50メートル離れた公園内で、甲は、鞆を控室に忘れてきたことに気が付いた。そこで、甲が、急いで引き返そうとすると、友人乙と出くわした。乙から、「どうして、そんなに慌てているんだい。」と尋ねられたのに対して、甲が事情を説明していると、そこに、甲を追って来たAが現れた。Aが、「お前の鞆の中に時計があった。慌てているから怪しいと思ったよ。」と申し向けると、甲は、「お願いですから、見逃して下さい。」と懇願した。しかし、Aは、甲の頼みに応じようとしなかった。

二人のやり取りを聞いていた乙が、「こうなったら、奴を脅して口止めするしかないじゃないか。これを使いなよ。」と言って、甲に刃渡り20センチメートルのサバイバルナイフを手渡した。甲は、「そうだな。バレたらやばいからな。」と応じ、Aに向かって渡されたナイフを突き出すと、「いい加減に許してくれよ。でないと、あんた、痛い目に遭うよ。」と凄んだ。思いも掛けない甲の迫力に驚き、このままでは、興奮した甲から、何をされるか分からないと脅えたAが、「分かったよ。誰にも言わないから、助けてくれ。」と言いながら逃げ出したところ、Aは、公園出口の階段で足を踏み外して転倒し、頭部を強打して意識を失った。

甲及び乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点を除く）。

刑事訴訟法（配点50点）

以下の〔事例〕を読んで、【第1問】および【第2問】のそれぞれの〔設問〕に解答しなさい。なお、【第1問】と【第2問】は相互に独立した問題とする。

〔事例〕

けん銃不法所持の被疑者Aの自宅に対する搜索差押許可状（けん銃不法所持の被疑事実に基づいて裁判官が適法に発付したもの）を所持したKほか数名の司法警察職員は、ひとり暮らしであるAの自宅の玄関で、応対したAに上記の令状を呈示してから、室内に立ち入ってA宅に対する搜索・差押えを実施した。Aは搜索・差押えに立ち会った。

【第1問】

〔事例〕（つづき）

搜索において、Kは、机の引き出しを開けたところ、その中から、覚せい剤様の白色結晶の入った小さなビニール袋および未使用の注射器4本を発見した。Kは、Aの同意を得ずに、発見されたビニール袋の内容物である白色結晶に対して覚せい剤の予試験を実施したところ、陽性の反応（覚せい剤の成分の含有を示す反応）が認められた。そこでKは、覚せい剤所持の被疑事実にもとづいてAを逮捕したうえで、①発見された白色結晶入りのビニール袋および注射器を差し押さえた。

〔設問〕

下線部①の行為の適法性について論じなさい。

【第2問】

〔事例〕（つづき）

搜索において、Kは、ダンスの中からけん銃を発見したため、②これを差し押さえた。

〔設問〕

仮に、本件の搜索差押許可状がKによって偽造されたものであったとき、下線部②の行為によって差し押さえられた物の証拠能力について疑義が生じる。この場合に、その証拠能力の有無を判断するための基準は、いかなるものであって、また、その基準はどのように導き出されるのか、論じなさい。